
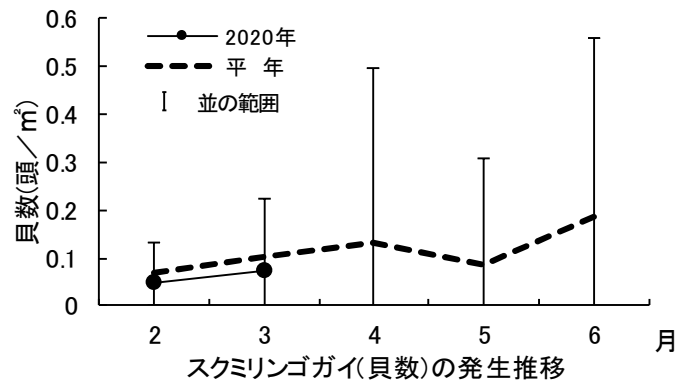


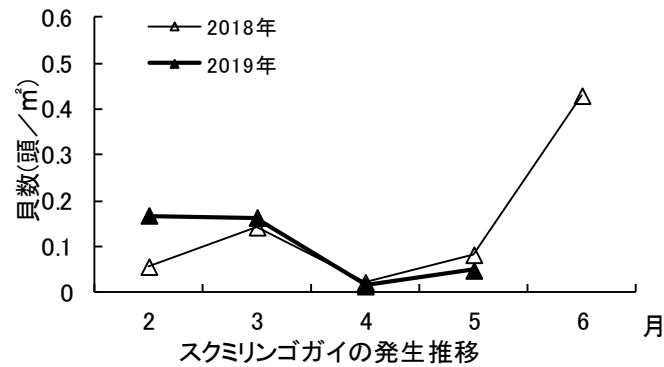
| | | | |
|-------|-----------------|---------------|---|
| 作物 | 水稻 | 地域 | 八重山群島 |
| 病害虫名 | ① スクミリンゴガイ | |  |
| 予報 | 4 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | 3 月からの増減傾向 | ↗ | |
| 予報の根拠 | 3 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | その他 (気象要因など) | 平年の発生量の推移 (↗) | |

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



発生ほ場率 : 50.0% (平年 : 36.2%)

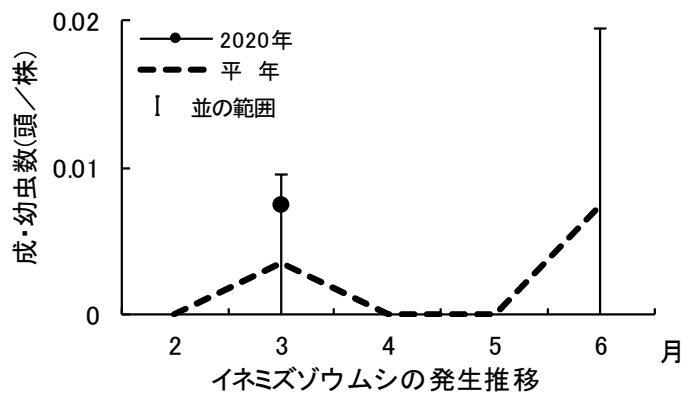
防除のポイント

- ・ 貝や卵塊は見つけ次第捕殺する。なお、捕殺時はゴム手袋を着用する。
- ・ 取水口に侵入防止網 (目合6~9mm程度) を設置し、用排水路からの侵入を防ぐ。
- ・ 畦畔および用排水路周辺の雑草を除去し、産卵場所を作らない。

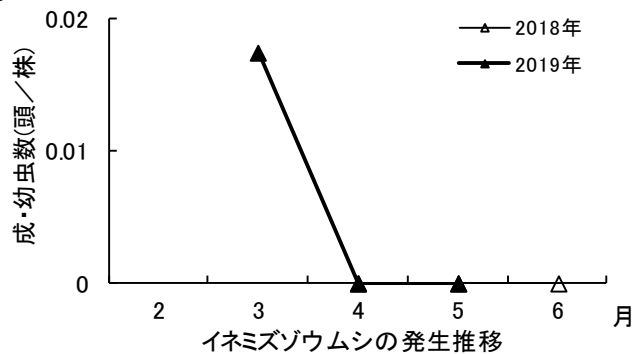
| | | | |
|-------|-----------------|---------------|---|
| 作物 | 水稻 | 地域 | 八重山群島 |
| 病害虫名 | ② イネミズゾウムシ | |  |
| 予報 | 4 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | 3 月からの増減傾向 | ↘ | |
| 予報の根拠 | 3 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | その他 (気象要因など) | 平年の発生量の推移 (↘) | |

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



発生ほ場率 : 12.5% (平年9.0%)

防除のポイント

- ・越冬成虫は3月中下旬頃に水田へ飛来し、イネの葉脈に沿ってすじ状に食害する。その後水面下の葉鞘に産卵し、ふ化した幼虫は土に潜り根を加害するため、被害が大きい場合は欠株や生育異常を引き起こす。
- ・防除薬剤は、育苗時の箱施用が効果的である。
- ・成虫密度が高い場合は、定植1か月以内に本田防除を行う。
- ・ほ場周辺のイネ科雑草は発生源となるので、除草を徹底する。